

**多文化共生（多様性・異文化理解、外国人の人権など）について****(1) ねらい**

ゲームやグループディスカッションなどの体験型学習を通して、日本語から情報を得にくい外国の方の苦労や不安などについて理解したり、異なる人種、多様な文化・習慣を持つ人たちが抱える課題を認識したりすることで、すべての人にとって住みよい地域づくり(多文化共生社会)について考える。

**(2) 対象**（○の下の数字は対象学年）**メニュー提供者**

幼	小	中	高	般
	○	○	○	○

(3) 支援

公益財団法人滋賀県国際協会

(4) 形態

出前授業

(5) 関連教科等 *（ ）内は関連性の強い単元

社会科、外国語科、道徳科、総合的な学習等

(6) 土曜授業

※可

(7) 支援メニュー内容

学習プログラムの例

〈例1〉「非識字体験ゲーム『ここは、何色?』」

…世界の様々な言語を使って楽しむ塗り絵ゲーム。いろいろな言語に触れることから世界へと目を向けることや、日本語から情報を得ることが難しい身近な外国の方の気持ちに共感することをねらいとします。

〈例2〉「わたしん家の食事から カードゲーム版」

…食文化を切り口に、多様性や異文化遭遇、身近な外国人の気持ちを理解する。

〈例3〉「言葉がわからない体験ゲーム 何が起こった?(震災編)」

…言葉から情報を得ることが難しい方々の苦労や不安などを疑似体験し、全ての人にとって住みよい地域づくりに必要なことは何かを考えます。

〈例4〉「マイクロアグレッションについて」

…発言側には相手を傷つけたり差別したりする意図はないが、異なる人種、文化・習慣を持つ人に対する無理解、偏見、差別が含まれている「見えにくい」攻撃について考えます。

(8) 支援メニュー関連ホームページ<http://www.s-i-a.or.jp/projects/education>**(9) 費用**

謝金	応相談
旅費	要

(10) その他

学習プログラムの相談は、少なくとも1, 2カ月前にはご依頼ください。

詳しくは、「(公財)滋賀県国際協会」HP をご覧ください。

※土曜授業: 出前授業は土曜日でも対応可能ですが、来所見学については、土日祝日は不可です。

申し込み

この支援メニューは、メニュー提供者のホームページまたは電話・FAX 等により直接申し込むことができます。しが学校支援センターを通じて申し込むことも可能です。

相談はしが学校支援センターへ 電話: 077-528-4654 e-mail: ma0601@pref.shiga.lg.jp